

# さかき

No. 150 (記念号)

平成30年4月30日

議会だより



## 2月臨時会・3月定例会

- ・防災行政無線本格稼働 ..... 2ページ
- ・予算審査委員長報告 ..... 4ページ
- ・記念号に寄せて ..... 18ページ

# 3月定例会 予算議会

## 「防災行政無線」が本格稼働

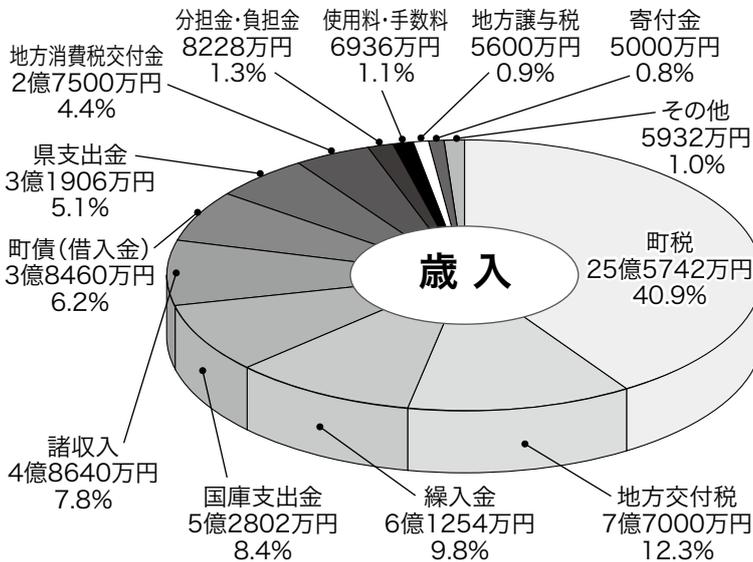
108億5987万円

(前年度比3.7%の減)

平成30年第1回定例会は2月27日に開会され、一般質問には9名が登壇した。30年度の一般会計予算をはじめ各特別会計予算案、法改正により任命制となった農業委員会委員の人事案件、条例案、29年度の補正予算等を原案のとおり可決したほか、意見書1件の提出を可決し、19日に閉会した。

### 歳入

町税1.2%の増、25億6000万円余



一般会計  
62億5000万円

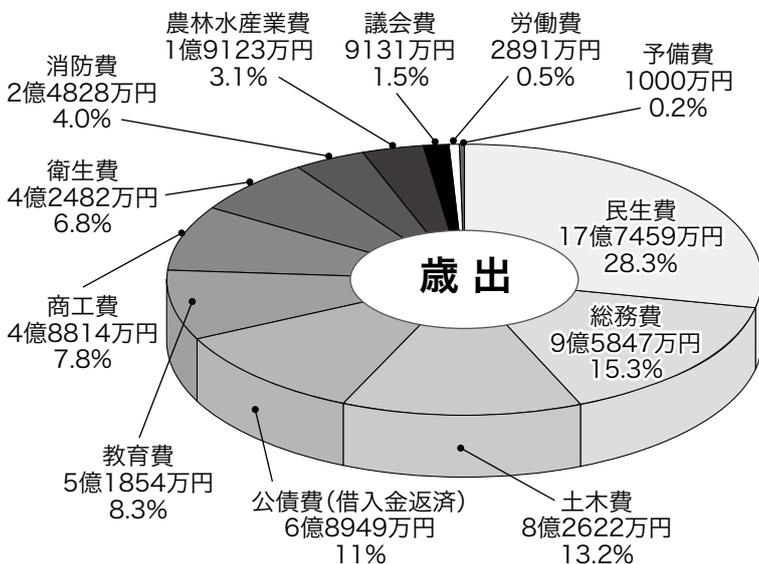
### 歳入

町内企業の動向を精査する中で、個人町民税は前年度同額とする一方、法人町民税では2・3%の増額を見込み、町税全体では約3千万円、1・2%の増としている。

また、防災行政無線の基地局等の工事完了を受け、町債(借入金)と特別

### 歳出

防災行政無線(同報系)開局



### 歳出

会計(有線)からの繰入金は無償貸与し、町からは減少し、町債は3億4千万円減、繰入金は7400万円の減を見込んでいる。

また、一般家庭向けの住宅リフォーム補助金やテラス向けに準備経費等が新たに計上された。

有線放送電話に変わる情報伝達の仕組みとして「防災行政無線」が、7月開局する。全戸に受信機

# 平成30年度一般会計予算 前年比5.6%の減

## 「つながるあんしん坂城町」構想の実現に向け

### 予算総額

(一般会計+特別会計)

### 特別会計46億987万円

会計名	予算総額	対前年度増減率
有線放送電話	1億2104万円	△42.9%
国民健康保険	15億6668万円	△17.6%
同和地区住宅付 新築資金等貸付	0円	特別会計廃止
下水道事業	12億5452万円	35.3%
介護保険	14億5962万円	2.8%
後期高齢者医療	2億801万円	9.7%

#### 有線放送電話

有線放送電話事業の精算を行うほか、同報系防災行政無線整備のため、一般会計への繰り出しを行う。前年度対比42.9%、9106万円の減である。

#### 国民健康保険

30年度より制度運営が都道府県単位に変わり、財政主体も県へ移行されることに伴い、保険料を主な財源として県へ納める事業費納付金と、県からの交付金をもとに支払



さくら咲いたら1年生(南条保育園卒園式)

#### 下水道事業

う医療費に対する保険給付費等を計上する。前年度対比17.6%、3億3427万円の減。

千曲川流域下水道及び町公共下水道の整備・管理を行う。32年度の完成

地区の面的な整備を行う。前年度対比35.3%、3億2717万円の増である。

#### 介護保険

介護を必要とする高齢者が、安心して介護サー

ビスが利用できるよう事業を実施するとともに、高齢者の自立を支援し、介護予防・重症化防止のほか、地域の支えあい体制づくりを進める事業を実施する。前年度対比2.8%、3930万円の増である。

#### 後期高齢者医療

本制度は長野県後期高齢者医療広域連合が運営しているが、町は保険料の徴収と窓口業務を行っている。前年度対比9.7%、1840万円の増である。

# 委員長報告

## 一般会計

各常任委員会では、付託された一般会計予算案について慎重に審査し、その結果を委員長が本会議で報告した。

総務産業常任委員会

### 循環バス

「どこでものれーる」

委員長 吉川まゆみ

#### 総務課

#### 歳入

**問** 軽自動車税の増額の内容は。

**答** 軽四輪の乗用および貨物において、初期登録から13年経過した物件の税額が引き上げとなった。この影響と29年度の実績から増額を見込んでいる。

**問** 土地と償却資産に係る固定資産税の見込みは。

**答** 土地は、近年の下落傾向が若干穏やかなため前年度比2%の減。償却資産は、27年度以降好調な推移で伸びているため29年度収入見込み額に償却分を加味し、前年度比3800万円の増と見込んでいる。

#### 歳出

**問** 町税口座振替の普及状況は。

**答** 現在、町税納付者における利用割合は47・65%で、前年同期比0・5%減である。

**問** 庁舎への防犯カメラ

**答** 一般会計分1万件、

#### 会計室

の設置台数は。また、モニターの管理は。

**答** 庁舎および保健センターに7台、モニターの設置は総務課および宿直室などを検討している。

**問** 庁舎等改修工事費の内容は。

**答** エレベーターの改修と防犯カメラ設置に係る配線工事費などである。

**問** コンビニ収納の件数と手数料の見込みは。

**答** 一般会計分1万件、



ワイナリーの建設進む

#### 企画政策課

1件当たり61・56円で61万5千円を見込んでいる。

**答** 29年度で一区切りとし、今後は、ワイン用ブドウの産地化、坂城産ワインの消費拡大への支援などワイン文化の醸成と推進に取り組んでいく。

#### 産業振興課

**問** 個別施設計画基礎調査業務の内容は。

**答** 公共施設の劣化診断と住民によるワークシヨップを予定している。

**問** まちづくり推進事業の講師謝礼等の内容は。

**答** 169系電車の製造から50周年、坂城駅前静態保存5周年の記念イベント開催に伴う講演会等の謝礼である。

**問** ワイナリー形成事業の今後は。

**問** さかきブランドづくり事業補助金の内容は。

**答** 29年度までは、主に町内の農産物を使った商品開発や改良が対象だったが、30年度以降は、町をPRする商品づくりを対象に、町内事業者や個人など広く募集する。

**問** 転作推進補助金の増



「どこでものれーる」町内全域に拡大



# 委員長報告

## 特別会計

付託された5特別会計予算案について慎重に審査し、その結果を委員長が本会議で報告した。

### 総務産業常任委員会

委員長 吉川まゆみ

#### 有線放送電話

##### 電柱撤去、利活用も

**問** 有線放送電話柱の撤去の本数の見込みと撤去後の利活用は。

**答** 撤去の対象が約1700本、移管の対象が400本である。利活用については、建設課で公園

整備に150本から200本程度使用する計画がある。

**問** 有線放送電話特別会計の廃止時期は。

**答** 29年度末に有線放送電話事業は廃止になる。

るが、30年度中に清算し設備の撤去も完了するため、30年度末をもって特別会計を廃止する予定である。

**問** 有線放送電話専属の職員の今後は。

**答** デジタル防災行政無線の運用業務のほか、まち創生推進室の事務に従事する予定である。

#### 下水道事業

##### 32年度完成目標

**問** 国道下水道管工事の進捗状況は。

**答** 南条1工区の29年度末の進捗率は82%、南条2工区については、国道の舗装補修の影響があり55%の見込みである。

**問** 南条小学校周辺の供用開始の状況は。

**答** 国道と旧道の間で一部残っているが、南条小学校から北側は終了した。工事が済んだ区域はできるだけ早く供用開始となるよう計画を立て進

めている。

**問** 谷川沿いの下水道整備の状況は。

**答** 一級河川沿いで堤防自体に管を入れないと下水に接続できない箇所については、河川占用の許可が得られない見込みである。その場合、赤線などから下水接続が可能であるか等、別の方法を検討する。どうしても接続が難しい箇所については、下水道区域から外して浄化槽の補助対象区域として切り替えをしていく。

**問** マンホール保守委託料について、メンテナンスが必要な工事は。

**答** マンホールポンプについては、機器類も含め毎年点検を行っている。管路については、30年を経過していないため管自体の補修工事は予定していない。

**問** マンホールポンプを交換した事例は。

**答** これまでに2カ所で行っている。



親局（役場庁舎内）



下水道マンホール

# 社会文教常任委員会

委員長 柳沢 収

## 国民健康保険

### 特定健診無料化

**問** 国保の一般・退職被保険者数は。

**答** 30年2月末現在、一般被保険者3238人、退職被保険者43人。合計3281人である。

**問** 基金残高は。

**答** 29年度当初予算の段階で、約8850万円である。今後は、毎月の保険給付費が県からの交付金で賄われるので、年度

中に給付費の不足による補てん要因はなくなってくると考えている。

**問** 保険料率が県内で統一されるのはいつか。

**答** 現段階で明確ではない。今後議論されていく。

**問** 今年2月末までの医療費は。

**答** 全県状況が出るのは確定値として毎年10月である。町の12月診療分

までの積み上げでの一人当たり医療費は32万5539円である。

**問** 特定健診受診料の自己負担分を無料化したことによる影響額は。

**答** 自己負担分を無料としたことにより、300万円ほどの増額計上となった。

## 介護保険

### 保険料増額

**問** 普通徴収と特別徴収の人数は。

**答** 調定上の人数で、30年度見込みでは特別徴収4800人、普通徴収290人である。

**問** 基金残高は。

**答** 28年度末で約1億8500万円である。

**問** 地域密着型介護サービス給付費には特別養護老人ホームが含まれているか。

**答** 特別養護老人ホームに含まれるのは第二美里園で、その他には地域密着型通所型サービスや認知症対応型共同生活介護、認知症対応型の通所介護などが含まれる。

**問** 特別養護老人ホームの待機者の状況は。

**答** 町内の3施設で合計100人ほどの待機者がいる状況である。

## 後期高齢者医療

### 被保険者増加傾向

**問** 特別徴収、普通徴収の人数は。

**答** 特別徴収2331人、普通徴収469人である。

**問** 特別徴収の人数が増えているがその理由は。

**答** 29年度の75歳到達者が特別徴収に移行したことが主な原因である。

**問** 特別徴収の人数が



音楽レクリエーション講座（北日名公民館）



地域密着型指定介護老人福祉施設 第二美里園

# ここが聞きたい！ 一般質問

(一般質問の文章は、質問者の責任で作成しています)

和平公園

展望台の眺望を元の姿に

検討したい

**問** 建設課長 5月から10月までの利用期間中、指定管理者である町振興公社が、日々管理・整備を行っている。  
**問** 公園のあずまやおよび展望台は、町を取り巻く山々を近景に、その背後に同じ高さの目線

**問** 和平公園全体の管理・整備はどこが、いつ、どのように行っているか。  
**問** 産業振興課長 検討したい。



小宮山 定彦 議員

**問** 東日本大震災において、被災地全体で亡くなられた方の約6割は65歳以上の高齢者で、障がい者の方の死亡率は、被災住民全体の死亡率の約

災害発生時の避難

で北アルプスのそうそうたる山並みが遠望できる場所である。  
しかし、現在は雑木や杉の木立のために眺望が遮断されており、展望台の用を成していない。元の姿に戻すべきではないか。  
福社健康課長 この2月

2倍に上がった。当町で避難行動要支援者、つまり在宅で自力での避難が困難な方はどのくらいか。また、避難体制は。

現在で436人である。避難行動支援については、地域住民の皆さんの共助の力が不可欠である。



あずまやと展望台の現状

## 質問項目

小宮山 定彦 議員 8ページ

- ① 和平高原について
- ② 災害発生時の避難について

滝 沢 幸 映 議員 9ページ

- ① 情報発信力向上にむけて

柳 沢 収 議員 9ページ

- ① 明るいまちに
- ② 仕事と暮らしのまちに
- ③ 寄り添うまちに

入 日 時 子 議員 10ページ

- ① 30年度予算について
- ② 農と食の取り組み

朝 倉 国 勝 議員 10ページ

- ① 国道18号バイパスについて
- ② 農業振興について
- ③ 里山整備

塩 入 弘 文 議員 11ページ

- ① 働き方改革について
- ② 第7期介護保険事業について

中 嶋 登 議員 11ページ

- ① 新工業団地について
- ② 「あいさい」について
- ③ ふるさと納税について

塚 田 正 平 議員 12ページ

- ① 地域の活性化
- ② 教育環境と人づくり
- ③ 有害鳥獣対策

大 森 茂 彦 議員 12ページ

- ① 国保の県への移行について
- ② 誰もが安心して暮らせる町に
- ③ 町ホームページのリニューアルを

# 情報発信

## 防災行政無線開局は

### 7月末に本格運用開始



役場庁舎のアンテナと屋外スピーカーカー



滝沢 幸映 議員

**問** 当町は、内外へ発信する多くの施策、制度がある。その情報を伝えるために、発信力が求められる。「つながる あんしん 坂城町」構想、さかさワイナリー形成推進事業で、現状と情報発信は。

**町長** 現在、デジタル防災行政無線整備工事を進めている。役場庁舎や町内25カ所の屋外拡声子局の設置、Jアラートと

の接続、千曲坂城消防本部に遠隔制御装置の設置が完了し、全戸、全事業所へ戸別受信機の配布をスタートした。今回整備するシステムの最大の特徴は災害に強いことで、各システムと連動し、町民へ直ちに情報伝達を行うことが可能となる。

さかさワイナリー形成事業は、24年度から創業に向け試験圃場で各実証試験に取り組んできた。そして今夏、待望のワイナリーが町内に開業予定である。今後は「ワイン文化推進事業」として、坂城産ワインの消費拡大に向け、町振興公社、ステキさかさ観光協会とも連携しPRに努める。

**問** 移住定住促進事業は。 **企画政策課長** 30年度は新たに「信州さかさ 働く・暮らす体験事業」を計画。既存の公共施設で一定期間宿泊の場を提供し、町をより知ってもらう取り組みをする。

の接続、千曲坂城消防本部に遠隔制御装置の設置が完了し、全戸、全事業所へ戸別受信機の配布をスタートした。今回整備するシステムの最大の特徴は災害に強いことで、各システムと連動し、町民へ直ちに情報伝達を行うことが可能となる。

## 明るいまちに

### インター線の新しい橋は

#### 粘り強く要望



柳沢 収 議員

場の現状と駐車場マップの作成は。

**建設課長** 駅に隣接するB・Iプラザさかさ駐車場内に2区画分の無料駐車場が設置してある。主に駅を利用される方の送迎用に、30分以内の駐車

に限り利用できる。駐車場マップの作成は難しいものと考えている。

#### 寄り添うまちに

**問** 除雪対策は万全か。 **建設課長** 主要な幹線道路の除雪や融雪剤散布を行っているが、全ての町道の除雪等は難しい。

雪捨て場として、坂城大橋南側の消防ポンプ操場訓練場とさかさ千曲川バラ公園内のイベント広場を利用されたい。

## 問

坂城駅周辺の駐車

### 仕事と暮らしのまちに

**問** インター線延伸の計画線に架かる予定の「新しい橋」に仮称などを付けて運動促進を図れないか。 **町長** 事業化されていない区間についても、引き続き千曲建設事務所および長野県議会危機管理建設委員会などを通じ、粘り強く要望を重ね、早期に事業認可および事業着手できるようにしたい。



坂城大橋南側の雪捨て場

# 普通教室にクーラーを

## 計画的に対応する

### 教育環境

**問** 昨年12月議会会で小中学校の普通教室へのクーラー設置について質問したとき、町長は「計画的に進めていくことを考えていきたい」という答弁だった。傍聴していた村上小学校6年生の感想文は「クーラーは必要だ。1階より3階の方が2〜3度暑いので3階から付けてほしい」という意見が多かった。30年度に、普通教室のクーラー設置ができないか。

町長 30年度は南条小



待ってるよ (南条児童館ロビー)

学校のプールろ過機の改修等で約2100万円を予算計上した。クーラー設置は公立学校施設整備の国庫補助事業を活用し、計画的に対応したい。クーラーの設置は児童の感想も踏まえ、3階から順次設置していきたい。

**教育文化課長** 「児童館の開館時間は、午前8時30分から午後6時30分とする」と児童館管理規則で決まっている。保護者の意見を集約し、対応を検討したい。



入日 時子 議員

### 児童館の開館時間

**問** 児童館利用者から「開館時間を保育園と同じように午後7時までまでに延長し、長期休みのときは午前7時から開館してほしい」と言われた。安心して働くために、児童館の開館時間の延長ができないか。



朝倉 国勝 議員



開通が待たれる18号バイパス

**問** 国道18号バイパスの経過と今後の土地利用計画は。

**町長** 23年4月に坂城更埴バイパスが事業化され、24年度は設計協議や環境調査、25年度は用地幅杭を設置し地元説明会の開催、26年度は小網・網掛地区の用地測量、物件調

査を実施した。27年度から用地買収を始め、公社先行取得費のほか国費1億5千万円、28年度は1億8千万円、29年度は1億8千万円と推移した。昨年11月の期成同盟会に与する。

による中央要望活動で、町の実情が理解され、29年度補正予算として測量設

「坂城町国土利用計画」等関係法令に則した調整を図り進めていく。

## 18号バイパス

### 施策の展開を図る

### 早期建設と都市計画は

### 坂城ブランドの発信は

**問** ふるさと納税返礼品にブランド発信の提案を行ったが、具体的な手法は。

**産業振興課長** 返礼品に坂城ブランドを発信できるシールを作り貼付する。他への展開は研究したい。

## 働き方改革

### 超過勤務の改善を

#### 町独自で支援員を増やす



塩入 弘文 議員

**問** 教職員の長時間労働が問題になり、超過勤務時間が過労死ラインの

月80時間を超える人が増加している。小学校5・6年生は英語の授業も週2時間増える中でどのような対応するのか。教育文化課長 いじめ、不登校、家庭環境の問題に対応するため、教育・心理カウンセラー、教育コーディネーターをはじめ

め、授業中の支援員、30年度には理科専科などの支援員を増やしていく。**問** 町職員の健康を守るため、衛生委員会の活動状況は。

総務課長 年4回開き、職員の健康チェックなどを実施している。

**問** 保育園のクラス担当保育士の確保は。

保育園振興幹 今年は7名の正規職員を採用した。来年度は臨時職員等の募集をしており、クラス担当保育士は確保した。

#### 介護保険事業について

**問** 社協と協力し、ボランティア養成に力を入れるべきではないか。

福祉健康課長 ボランティア養成のため「音楽レクリエーション講座」を開催し、好評なので、引き続き来年度も開催する。介護予防に取り組む地域グループの活動を増やすため、運動指導専門員を派遣したい。



みんなが輝く坂城町



中嶋 登 議員

## 計画と分譲予定は

### 34年度に4haを分譲

## 新工業団地

**問** 前田工業団地売却に伴い、町の工業用地は

坂城インター工業団地約0.3haと少なくなった。それを受け、28年9月議会では、工業の町としては切れ目なく2haぐらいは確保しておくことを提言した。町長答弁では2〜3倍の工業団地を考えたいと

言う。29年度、新工業団地設計委託料として200万円の予算を計上した。2月22日に、新工業団地造成箇所選定会議が開催されたが結果は。

町長 最近の町内企業は全般に好調で、工場の拡張や新たな工業用地確保の要望を数多く聞いている。新工業団地は、テクノ

さかき駅西側へ4ha造成し、現在の工業団地を拡張する形となる。分譲予定は34年度を目標としている。

産業振興課長 3月12日にリニューアルオープンする。「道の駅」に登録するには、トイレの増設や駐車場の拡張などの条件があり難しい。

#### 「あいさい」について

**問** 地場産直売所「あいさい」を2300万円の予算で売り場を増設しているが、全国組織である「道の駅」に登録できないか。

産業振興課長 3月12日にリニューアルオープンする。「道の駅」に登録するには、トイレの増設や駐車場の拡張などの条件があり難しい。



34年度分譲目標のテクノさかき工業団地

# 空家対策

## 空家等の調査は

279件である



竹に覆われた空家



塚田 正平 議員

**問** 空家は所有者自らが維持管理するのが基本であるが、地域の安全と生活環境の保全を図る「空家等対策計画」と空家等の調査結果は。

28年度から5年間の「空家等対策計画」を策定した。空家等は居住の使用が無く、その敷地にある立木等も含む。特定空家等とは倒壊等保安全上危険な状態、衛生上有害な状態、著しく景観を損なう状態など放置することが不適切な状態の空家等をいう。

**住民環境課長** 28年3月の空家等の現地調査の結果は279件である。物置、納屋等の付属物と草木の繁茂等については、これまでどおり「町生活環境保全条例」で対応する。収納対策推進幹 長く相続されない所有者不明の土地は、宅地824㎡、農地8157㎡、林地9134㎡である。

### 森林税の活用を

**問** 鳥獣被害対策で山林の緩衝帯と河畔林整備を。

**建設課長** 御堂川の河畔林整備など地域課題を県に要望する。

## 国民健康保険

### 保険税はどう変わるか

#### 運営主体は県に



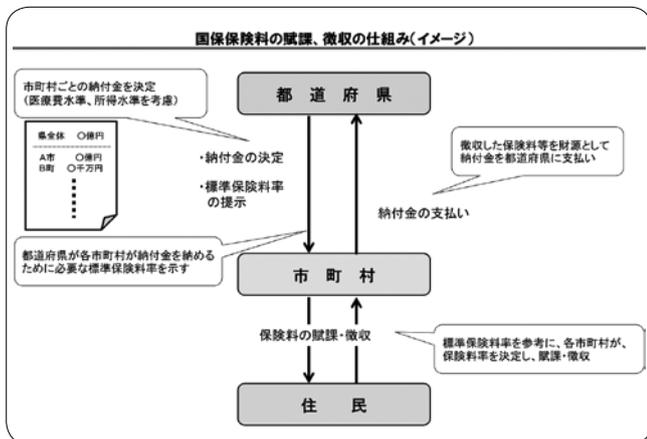
大森 茂彦 議員

**問** 国保は30年度から市町村運営から県一本化となる。今回保険税は1世帯当たり平均14万3336円で今より2.07%増の2904円の値上げが提案されている。どう算出されたのか。激変緩和措置がなければどうなるか。

一は将来的としている。統一を視野に、当面各市町村がそれぞれの考え方で税率を決めていく。県と分1200万円を投入しても、1世帯当たり町も実施し、急激な上昇を抑える。県は35年度まで行おうとしている。町は14%程度の増となる。

**町長** 新制度では、各都道府県は、一律の保険税率を設定することになっている。しかし、長野県は市町村数が多く、所得水準や医療費水準の格差が大きい。そのため、保険税の統

一は将来的としている。統一を視野に、当面各市町村がそれぞれの考え方で税率を決めていく。県と分1200万円を投入しても、1世帯当たり町も実施し、急激な上昇を抑える。県は35年度まで行おうとしている。町は14%程度の増となる。



変わる国保のしくみ

# 第1回臨時会 議案審議

2月14日の臨時会では、契約の締結、補正予算など町から提出された3件の議案を原案どおり可決した。

## ◆産業道路改良工事請負契約

町が金井地区と町横尾地区で事業を進めている、町道A01号線道路改良事業(酒玉工区)の若草橋架け替え工事について工事請負契約を締結する。請負金額は6296万円で、契約の相手方は「中信建設株式会社坂城営業所」。

## ◆一般会計補正予算(第10号)

今回の補正により1億1134万円を減額し、総額は69億263万円となった。

主な内容は、同報系デジタル防災行政無線の整備に係る29年度の事業費確定に伴う調整で、歳入では町債(借入金)1億1100万円を減額し、歳出では防災行政無線施設整備工事費1億1196万円を減額した。

## 人事

### 議会事務局の人事異動

#### 関 貞巳 氏 新局長に

4月1日付けで、白井局長が企画政策課長として異動しました。白井局長には2年間、議会運営等にご苦労いただきました。

後任として、総務課から関局長を迎えました。新局長のご活躍を期待します。

# これからの坂城町を語ろう

## ～第11回議会報告会～

開催日時	開催場所	担当班
5月19日(土) 午後7時～8時30分	中心市街地コミュニティセンター	A
	坂城町ふれあいセンター(上平公民館)	B
	文化センター中会議室(2階)	C

※どの会場にもご参加いただけます。最寄りの会場へお出かけください。

### 班の構成

◎は班長、○は副班長

A班 ◎吉川まゆみ ○小宮山定彦 塚田 忠 山崎 正志

B班 ◎柳沢 収 ○朝倉 国勝 大森 茂彦 中嶋 登

C班 ◎入日 時子 ○塚田 正平 塩入 弘文 滝沢 幸映

議員が議会活動の報告・説明をし、町民の皆さんからのご意見や町政に対する提言などを直接お聞きする場として、議会報告会を開催します。これからのまちづくりについて率直な意見交換をさせていただく貴重な機会です。住み続けたい坂城町にするために、あなたのご意見をお聞かせください。

## 議会を傍聴してみませんか

次の定例会は6月初旬開会の予定です

事前の申し込みは不要です。当日議場(役場4階)へお越しください。

### お詫びと訂正

第149号の6ページ山崎議員の一般質問の記事に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

### 【正】町内

### 【誤】庁内

# 第1回定例会 議案審議

## 条例改正

### 国民健康保険税条例の一部改正

制度の運営主体が都道府県単位に移行することに伴い、国民健康保険税の充当先に、県に納める事業費納付金を含めるとともに、保険税率の改正を行うもの。改正後の税率は、医療給付費分の所得割6%、資産割19%、均等割、平等割それぞれ1万9400円。後期高齢者支援金分の所得割1・9%、資産割4・2%、均等割、平等割それぞれ6600円。介護納付金分の所得割は据え置き、資産割4・1%、均等割、平等割それぞれ6500円となる。



ちょっと緊張（入学式）

### 介護保険条例の一部改正

30年度から3年間を計画期間とする第7期介護保険事業計画に基づき、保険料の見直しを行うもの。基準額となる第5段階の保険料月額を100円上げ5100円とし、これを基準として所得段階ごとの乗率に応じた保険料となるよう条例を改正する。

### 同和地区住宅新築資金等貸付条例及び同特別会計の廃止

昭和47年以来貸付を行ってきた同和地区住宅新築資金等貸付事業について、29年度で長期債（借入金）の償還が終了することから、条例及び特別会計を廃止するもの。

### 一般会計補正予算（第11号）

平成29年度予算総額に1億2235万円を追加し、補正後の総額は70億2498万円。

- ◆ 町税全体 7780万円
- ◆ 地方消費税交付金 2316万円
- ◆ 財産収入（土地売却収入など） 4842万円
- ◆ ふるさと寄附金 △1200万円
- ◎ 歳入の主な内容（△は減額）
- ◆ 都市計画道路坂都5号線用地代（中之条地区） 1億7373万円
- ◆ 介護保険特別会計繰出金 △1138万円
- ◆ 後期高齢者医療給付費負担金 △1521万円
- ◆ ふるさとまちづくり基金積立金 △1181万円
- ◆ 広域行政事業基金積立金 3091万円

### ◎30年度への繰越事業

- ◆ 隣保館トイレ改修工事 272万円
- ◆ 町道A01号線道路改良事業（南条地区） 8102万円
- ◆ 道路新設改良一般事業（町道A06号線・村上地区） 1193万円
- ◆ 橋梁修繕事業（昭和橋など） 5259万円

### 人事

#### 農業委員会委員

法改正により、公選制から議会の同意を得て町長が任命する選任制へ移行された農業委員会委員14名の任命について、同意したものの。任期は30年5月18日から3年間。

- 石間 笑氏（込山）
- 春日 忠雄氏（南日名）
- 富山 広一氏（四ツ屋）
- 柳澤 茂隆氏（御所沢）
- 柄沢 満則氏（上五明）
- 田中 克人氏（入横尾）
- 永井 篤氏（上平）
- 春日 和彦氏（北日名）
- 小林 秋治氏（網掛）
- 中島 三衛氏（中之条）
- 西澤 三義氏（北日名）
- 三井 三彦氏（金井）
- 山崎 輝雄氏（鼠）
- 朝倉 国勝氏（上平）

# 第1回臨時会 並びに 第1回定例会(3月)の審議結果

## 1 賛否が分かれた議案

(○は賛成、×は反対)

(議案名)		(議員氏名)													
		小宮山定彦	朝倉国勝	柳沢収	滝沢幸映	吉川まゆみ	塩入弘文	塚田正平	山崎正志	中嶋登	大森茂彦	入日時子	塚田忠	西沢悦子	塩野入猛
条 例	国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	議長職	欠席
	介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○		
	後期高齢者医療に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○		
平成30年度当初予算	国民健康保険特別会計	○ 賛成討論	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	議長職	
	介護保険特別会計	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○		
	後期高齢者医療特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		
請 願	「若い人も高齢者も安心できる年金制度」を国の責任で創設するための意見書に関する請願	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	
意 見 書	若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める意見書	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	

## 2 全会一致で可決された議案

### (1) 条例

- ① 指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定
- ② 指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定
- ③ 組織条例の一部改正
- ④ 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
- ⑤ 児童館条例の一部改正
- ⑥ 国民健康保険条例の一部改正
- ⑦ 企業立地の促進等のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部改正
- ⑧ 町営住宅等管理条例の一部改正
- ⑨ 都市公園条例の一部改正
- ⑩ 消防団員等公務災害補償条例の一部改正
- ⑪ 同和地区住宅新築資金等貸付条例及び同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計条例の廃止
- ⑫ 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例及び特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部改正
- ⑬ 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

### (2) 平成30年度当初予算

- ① 一般会計
- ② 有線放送電話特別会計
- ③ 下水道事業特別会計

### (3) 平成29年度補正予算

- ① 一般会計(第10号)
- ② 有線放送電話特別会計(第2号)
- ③ 一般会計(第11号)
- ④ 有線放送電話特別会計(第3号)
- ⑤ 国民健康保険特別会計(第2号)
- ⑥ 同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計(第2号)
- ⑦ 下水道事業特別会計(第3号)
- ⑧ 介護保険特別会計(第2号)
- ⑨ 後期高齢者医療特別会計(第1号)

### (4) その他

- ① 平成29年度社会資本整備総合交付金町道A01号線道路改良工事請負契約の締結
- ② 農業委員会委員の任命につき認定農業者等が委員の過半数を占めることを要しない場合の同意
- ③ 農業委員会委員の任命(14件)
- ④ 都市計画道路坂都5号線用地の取得
- ⑤ 平成29年度交付金公共下水道事業南条1工区管路工事変更請負契約の締結
- ⑥ 平成29年度交付金公共下水道事業南条2工区管路工事変更請負契約の締結
- ⑦ 平成29年度社会資本整備総合交付金町道A01号線道路改良工事変更請負契約の締結

## 3 全会一致で否決された議案……なし

## 4 請願審査結果

件 名	提 出 者	付託常任委員会	審査結果
「若い人も高齢者も安心できる年金制度」を国の責任で創設するための意見書に関することについて	全日本年金者組合坂城支部 支部長 片桐 祐雄	社会文教	可決 意見書提出

## 企業連携プロジェクトに学ぶ

総務産業常任委員会



南信州・飯田産業センター

総務産業常任委員会は1月24日(水)、伊那市産直市場グリーンファーム、南信州・飯田産業センターで飯田航空宇宙プロジェクトの視察研修を行った。

グリーンファームは年商約10億円、従業員65名で産直市場として活発な事業展開をしている。経営のポリシーとして、地元元航空産業を中心とした企業連携プロジェクトの発足であった。さまざまな困難を乗り越えて現在のプロジェクトメンバーを編成し、アジア有数の航空宇宙の中核地を形成している。特に中京地区は航空宇宙企業が集まっていることから、地の利を生かした発展が期待される。新設の拠点工場の最新鋭の設備を見学して、成功への心意気を感じた。

(朝倉 国勝)

## 学校が真ん中にあり 稲の村

社会文教常任委員会

社会文教常任委員会は1月26日(金)、町内の小学校の授業参観を主たる目的に3カ所を視察研修に訪れた。

最初の視察場所は、高浜虚子「学校が真ん中」

あり稲の村」の村上小学校。初めて校舎に足を踏み入れたが、廊下も教室も校長室も全てに明るく開放的な雰囲気を感じた。ベテランALT、ドナ先生の6年生の英語授業を丸々1時限参観した。さまざまな教材が駆使され飽きることがなかった。子どもたちの授業参加が積極的で、すぐれた実践が行われていると感心することしきりであった。

ただ、高校入試に対応せざるを得ない中学校の英語にどうスムーズに接続させるか、英語教育コーディネーターの力量に依るところ大であろうと思った。

次は「食育・学校給食センター」を訪れ、実際に給食を食べながら単に給食の提供(1日



“What do you want to be?”

最後は先ごろ創立140周年を迎えた南条小学校と完成間近の南条児童館を視察。ICT環境の整備状況を見ることはできたが、1時間ですべてを駆け足で回すため運用・活用状況までは十分に視察できず残念だった。次の機会に期待する。

次は「食育・学校給食センター」を訪れ、実際に給食を食べながら単に給食の提供(1日

(小宮山 定彦)

# 坂城町の未来を考える 坂城中学校3年生による 模擬議会開催

2月16日(金)、役場4階の議場で、坂城中学校3年生5組の生徒による模擬議会が開かれた。

西沢副議長の議事進行のもと、8名の生徒が町の政策について質問し、山村町長ほか町の担当課長が答弁するという実際の町議会と同じ形式で行われた。模擬議会は、社会科の授業にお

いて、社会資本の整備、環境保全、社会保障の充実などに関して国や地方公共団体が果たす役割を学んだ生徒が、ふるさとの未来について考えるために実施された。生徒たちは緊張した様子ながらも国際交流、商業施設誘致、高齢者福祉、防災などについて堂々と質問していた。



生徒たちからは「私たちには関係のないことだと思っていたが、実際話を聞いてみると、すごく関係があつて重要なことだなと思った」「一つひとつのことをもう少し深く考えて、坂城はこういう町なんだと誇りを持てるように日頃から考えたいと思った」

「模擬議会を通して改めて坂城町のことを詳しく知ることができたが、まだ知り切れていないと思うので、これからも関心を持って調べたい」などの感想が寄せられた。

## 議 会 日 誌 (主なもの)

3月		2月		1月	
29日	町空家等対策協議会	27日	3月議会定例会	30日	正副議長・正副常任委員長研修会
27日	さかきワイナリー形成推進検討委員会	26日	上田地域広域連合議会定例会	29日	町介護保険運営協議会
26日	町土地開発公社理事會	22日	千曲衛生施設組合議会定例会	26日	町例月現金出納検査
20日	町中小企業能力開発学院運営委員会・修了式	21日	長野広域連合議会定例会	24日	総務産業常任委員会(閉会中の調査)
19日	議会運営委員会	20日	議会全員協議会	23日	社会文教常任委員会(閉会中の調査)
7・16・23・30日	議会報編集委員会	19日	千曲坂城消防組合議会定例会	18日	上田地域市町村議会議員研修会

## 町民日線で紙面づくり

100号発行時 議会議長

関 正義



議会報150号記念号の発刊、おめでとございます。100号記念号のときは、議長の立場でございました。今回の記念号にも寄稿の機会をいただき大変感謝しております。

思えば私は議員任期16年の内、議会報編集に半分以上の間、携わっていたことを思い出します。当時はちょうど「長野五輪」に合わせ、高速交通網の整備が急速に進められたり、国指導による「平成の大合併」で地方も大変革の渦中であり、大きな期待と合わせ、環境問題や失われる故里を憂いて、さまざまな不安を抱いた時代でありました。議会においても、これらの課題が活発に論議されたことは言うまでもなく、議会の記事も必然と多くのスペースを占めました。編集委員として、先進地への取材や写真撮影に、県内外に何度も出向いたことを思い出します。行政には広報があります。議会報は町民の目線に立って作るものです。正確に、分かりやすい紙面に心掛けてほしいと思います。

## 「継続は力」ですね

100号発行時 議会報編集委員会副委員長

円尾 美津子



議会報が150号になると伺い、驚きと喜びを感じています。今では定例会ごとに「議会だよりさかき」が私たちの手元に届くことが当たり前になっています。その都度、地道に努力し発行を続けてきたことが大きな力になっていのだと思います。

かつて、私自身も何年か議会報づくりに参加してきました。議会報を作るために、議案や論戦など議会の全てを復習しますので、気付くことが多く勉強になりました。

町村議会でも議会報を発行するところが増えて国や県主催でコンクールが開かれ町の議会報も何度か表彰されました。全国で優秀な成績を収めた先進地に視察研修を行いました。それぞれの地域で特徴があり、工夫や努力を学ぶことができました。坂城町にも他町から視察に来られました。

## 思い出すまに

100号発行時 議会報編集委員

春日 武



年4回発行される議会報は、事務局の職員が中心になって編集するものと思っていました。が、いざ自分が編集する立場になると思いの外、難しいものでした。一般質問が終わり安堵するいとまもなく約1時間の質疑応答を議会報向けに要約しなくてはなりません。質問終了後に自分の質問の不備に気

付くこともあり、少し想定外の答弁に一喜一憂する場面もありました。編集委員会では議会のありのままの姿を伝えようとしています。「こんな質問あったかな」「テープ起こしてみたら」「一言あるが、だいぶ膨らませたね」といった具合に編集作業が進みます。私は一般質問では単なる質問に終始するのではなく行政と対峙する気概が大切だと思います。



# 議会報は発信の要

議会議長 塩野入 猛

議会報も、150号の節目を迎えることができました。これまで培ってきた歴史の重さに加え、編集委員はじめ関わってきた皆さまに感謝を申し上げます。

議会報は、議会活動を中心に町民に寄り添いながら端的で確実な情報を流すことが重要です。それには、地道な研さんを積みながら住民目線での編集理念を持って取り組むことが大切なことです。

私も、編集委員そして委員長を経験する中で、議会報を作り上げる苦労や厳しさを実感してきました。

そうした中で、読者に訴える多彩な企画力はことのほか重要であり、そのために毎年「町村議会広報コンクール」への応募や長野県町村議会広報研修会にも積極的に参加してきました。

近頃は、編集技術も高まり全国コンクールでも、それなりの評価をいただいているところでもあります。

これからも、弛まぬ努力を続け、強い意気込みを持って、より良い議会報づくりに努めていけたらと思います。

## 記念号表紙の紹介

創刊以来38年、1号から149号の議会報をひもとくと、その時々町の様子が手に取るようになります。

150号の表紙では、これまでの議会報を全て紹介しています。

○創刊号は昭和54年9月発行、B5版の黒一色刷りでした。町民の皆さんに議会の様子を知っていただきたいという思いから、発行となりました。また、9号からA4版になりました。

○23号は、初めて表紙にカラー写真が登場し、62号からは、表・裏ともカラー写真になりました。

○50号は、平成3年11月に発行され、記念特集として歴代編集委員長の思い出が綴られています。

○80号は「議会報さかき」から「議会だよりさかきTomorrow」に名前が変わりました。

○97号が、県のコンクールで特別優秀賞を受賞しました。これまでも、何度か受賞しています。

○100号は、平成17年1月に発行され、町民の方々に寄稿をいただいた記念号となっています。

○132号は、「議会だよりさかきTomorrow」から「議会だよりさかき」となりました。



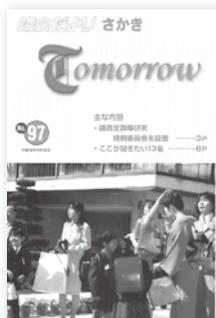
創刊号



50号記念号



80号「議会だよりさかきTomorrow」に



97号 特別優秀賞を受賞



100号記念号



132号「議会だよりさかき」に

発行責任者	議長	塩野入 猛
議会報編集委員会	委員長	西沢 悦子
	副委員長	滝沢 幸映
	委員	中嶋 登、山崎 正志、小宮山定彦

